

○15番 東野真珠也君

今元中学校3年、東野真珠也です。私は、行橋市内にある公園の量について、質問します。

小学生の頃、学校や家の近くに公園がなく、遊ぶ場所に困ったときがありました。他にも行橋市内のロコミで、公園が少ない、という意見がありました。だから、行橋市内に遊具がたくさんある大きな公園を一つか二つ増やすことを検討してほしいと思います。

そこで、市内に大型の遊具やおもしろい遊具など、遊具にこだわった公園はありますか。

○前半議長 平原柑奈君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

東野議員の御質問にお答えします。

まず、公園は先ほどの御質問にもございましたけれども、都市公園が33あるわけですね。また児童遊園が187ということですので、実際に公園は、たくさんあるといえはあるわけですが、要は市民のニーズ、皆さん方が使いたい、遊びに行きたいという公園があるかないかというところがポイントになってくるのかなと思います。

市内にある複合遊具ですが、全部で9箇所あります。大きなもので言うと総合公園にある、キャンプ場入口にあるものと、チューブ型の滑り台やローラー滑り台、クライミングやアーチブリッジ、こういったものが一つにまとまった高さ5メートルほどのものがございます。

そのほかにも複数の校区に小規模ではございますけれども、複合遊具がございます。ただ、議員がおっしゃるような、面白い魅力的な、あるいはかなり大きな、そういった遊具といったものは、なかなかないというのが現状でございます。以上です。

○前半議長 平原柑奈君

東野議員。

○15番 東野真珠也君

ありがとうございました。私があつたらいいなと思う大型の遊具は、総合公園のキャンプ場にあるものが近いということが分かりました。

最近では、日本一長い雲梯や日本一大きな遊具などがあることをニュースやネットで知り、行橋市にもあるといいなと思いました。そこで、行橋市でも、そのような遊具をつくってもらいたいと思いますが、つくる予定はありますか。

○前半議長 平原柑奈君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。そうですね、私も子どもを連れて、例えば北九州市さんの公園に遊びに行ったことがあります。これは例えば日本一長いブランコだったか、そういったものが確かあったように記憶をしております。

いろいろなそういったものがあると思いますが、現時点では、行橋市自体で魅力的な公園、こういったものは必要だと思っておりますが、今の時点では、議員がおっしゃるような計画そのものはございません。

ただですね、いま現状、やはり最初に申し上げたような、利用される、市民の皆さん方が遊びたいと思える公園の必要性といったものを感じております。そこで、今年度、2回ほどいま予定しておりますが、グループでいろいろな御意見を出していただくようなワークショップ、どういった公園がほしいか、そういったことを話し合っていただくワークショップを企画しておりますので、ぜひともまた、その場にも議員にも御参加いただければと思っております。以上です。

○前半議長 平原柑奈君

東野議員。

○15番 東野真珠也君

ありがとうございました。今はつくる予定がないことが分かりましたが、そのような遊具のある公園をつくることで、行橋市に住む子どもたちも喜びますし、最近では、インスタグラムなどに取り上げられて、行橋市外からも多くの人が遊びに来ることで、そのような遊具がある行橋市に住みたいと思い、行橋市の人口も増えるのではないかと思います。

できれば子どもたちが自分で移動できる距離に遊具がたくさんある公園をつくることを考えてほしいと思います。執行部はどのようにお考えでしょうか。

○前半議長 平原柑奈君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

ありがとうございます。そうですね、例えば中学校や小学校区にですね、そういった公園といったものができれば一番理想だなと思っております。

公園をつくるということは、新設、新しいものをつくる場合と、リノベーションと言いまして、今ある公園をつくり替えるといったものが、大きく分けるとその2つが考えられると思いますけれども、新設と、それからリノベーションの両方をですね、先ほど申し上げたワークショップ、市民の皆さん方に実際に御参加いただいて、どういった公

園が必要かといったところをですね深掘していく作業をしたいと思っております。

実際に、例えば遊具なんですけれども、夏場は日中暑くて使えないといった御意見が多数あるんですね。あるいは日陰は少ないとか、あるいは小さな、それこそまだミルクが必要な赤ちゃんをお連れの保護者の方からすると、もっと休憩できるような場所がほしいだとか、いろいろな御意見があらうかと思います。

そういった御意見を、これまでの公園づくり、どこまで反映することができていたのかなと言うとですね、かなり長い間、そういった御意見というものをいただいてきていたと思うんですけれども、もっともっと真剣に、そういった御意見に向き合う必要があったのではないかなと思っております。

ですので、今回、議会の御承認もいただきまして、ワークショップというものがようやく開催できるようになりました。いろんな世代の方々、特に行橋の未来を担っていくお子さん方、それから保護者の方々の御意見をいただきたいと思いますし、また障がいのある方、またその御家族、そういった方々の御意見なども伺っていきながら、皆さん方に本当に必要な、皆さん方に愛されるような公園づくりをしていきたいと思っております。以上です。

○前半議長 平原柑奈君

東野議員。

○15番 東野真珠也君

ありがとうございました。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。